

令和2年度 産科管理者交流会報告

千葉県看護協会 助産師職能委員会

今回、新型コロナウイルス流行の蔓延により産科管理者交流会の開催は紙面をもって行いました。情報提供期間は、令和2年11月5日～11月20日でした。対象は、千葉県看護協会会員助産師が在籍している67施設（看護学校を除く）に交流会の情報提供用紙をお送りし、39施設から返答を頂きました。

各施設からの情報提供により、母児ともに安心・安全な妊娠・出産への取り組み、また医療関係者の感染防止のための取り組みについて情報を頂くことができました。

以下に情報提供の内容を示します。

1. 回答の結果

1) 施設概要

施設概要	総合病院 (産科単科病棟)	総合病院 (産科混合病棟)	産科個人病院 診療所・助産院	その他
施設数	7	26	5	1

2) 産科の含まれる病棟病床数

病床数	0～19床	20～29床	30～39床	40床～	無回答
施設数	7	7	12	4	9

3) 産科混合病棟における診療科（複数回答）

診療科	婦人科	内科	外科	小児科	整形外科	眼科	その他
施設数	25	8	6	6	4	4	7

4) 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」の活用状況

活用状況	はい	いいえ	無回答
施設数	9	19	11

はい：混合病棟26施設中9施設（35%）が、ゾーニングや人員配置に活用

いいえ：理解はしているが稼働を考えると難しい

5) 分娩数

・分娩取り扱い施設の状況（回答39施設）

分娩取り扱い施設 37施設（2施設は分娩の取り扱いなしと回答）

分娩数 (件)	1～50	51～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501～600	601～700	701～800	801～900	901～1000	1001～
施設数	1	2	8	6	5	4	2	2	2	3	0	2

6)職員構成（助産師免許保持者数）

助産師数	0～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	無回答
施設数	6	16	11	4	1	1

7)アドバンス助産師

①既取得者在籍施設数

人数	0人	1～5人	6～10人	11人～
施設数	4	14	16	5

②アドバンス助産師既取得者数（回答施設内合計）： 211名

③令和2年度アドバンス助産師更新予定者数（回答施設内合計）： 61名

④令和2年度アドバンス助産師取得予定者数（回答施設内合計）： 16名

8) 院内助産院の実施の有無

回答	あり	なし	無回答
施設数	1	36	2

9) 助産師外来開設の有無

回答	あり	なし	無回答
施設数	27	11	1

運営方法・実施内容

- ・妊婦健診、保健指導をアドバンス助産師またはクリニカルラダーレベルⅢに準ずる助産師が実施
- ・妊婦健診4回を助産師が実施（妊婦が希望した場合には、母乳育児相談、2週間健診を行う）
- ・医師と連携、中期と後期1回ずつ実施
- ・妊娠前期と後期に、妊婦1人につき30分の保健指導と超音波エコーによる胎児の大きさ、胎向の経過観察
- ・予約制とし週に2日実施。助産師単独で妊婦健診、産後2週間健診を実施
- ・週1回アドバンス助産師による助産師外来とケア外来を実施している。生活指導やパースプランの確認、妊婦健診や産後の乳房ケアを実施
- ・産後2週間検診、母乳外来を実施

2. COVID-19 感染防止対策を含めた現状

1) COVID-19 検査実施状況

検査実施の有無	はい	いいえ	無回答
施設数	27	11	1

- ・妊娠36週以降に13施設、妊娠34週に1施設、妊娠35週から3施設、4施設が入院時に実施。予定帝王切開の場合は、2施設が妊娠期間中に実施。COVID-19を疑う症状、濃厚接触者に該当する場合など実施。
- ・PCR法9施設、LAMP法3施設、抗原検査3施設、5施設が検体を唾液にて採取。

2) COVID-19 感染防止対策

外来	<ul style="list-style-type: none"> ・付き添い者の制限および禁止、受診者はマスク着用、手指消毒 ・入口・玄関での体温、体調チェックの他、入り口を1カ所にする、発熱外来トリアージ ・ゴーグル、マスク着用、検査時は手袋着用、といったスタンダードプリコーションの徹底 ・診察毎に台、ドアノブ等の定期消毒、待合室の椅子の間隔をあける ・外来保健指導の縮小、診察・エコー時のタオル使用中止、他県から里帰り時は実家で2週間体調確認後受診
病棟	<ul style="list-style-type: none"> ・診察毎に診察台・接触箇所（ドアノブ・エレベーターボタンなど）の定時消毒、ナースセンター・カウンターにビニールカーテン、ベビーベッドの顔の部分に成人用フェイスシールド装着 ・面会の制限または禁止、定期的換気 ・ゾーニングの徹底、感染を疑う症状がある場合は隔離 ・入院中患者はマスク着用、入棟前の検温、36週～入院前2週間は自宅で体温と健康チェックをして所定の用紙に記入 ・スタッフはマスク・アイガード必着、スタンダードプリコーションの徹底、手指消毒薬携帯、出勤前体温チェック、風邪症状・体調不良時は休む
分娩時	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフはマスク、ゴーグルまたはフェイスシールド、手袋、ビニールエプロンの着用、スタンダードプリコーション、PPE ・立ち会い分娩、付き添い分娩中止、面会制限（1日30分成人に限る・面会は当日に窓越し・夫のみに限定など）、面会の禁止、密にならないように分娩時は最少人数で対応 ・マスク必須、分娩台にビニールカーテン、酸素使用时マスクの上から、本人のマスク、モニターベルトやタオルは個人用、使用後の物品や分娩台を、次亜塩素酸で清拭

3) 立ち会い分娩は実施しているか

回 答	はい	いいえ	COVID-19 のため中止	無回答
施設数	13	6	18	1

①はいの場合の対策

- ・妊娠36週頃から立ち会い希望の家族には検温をしてもらい、健康観察ののち、異常がなければマスク、ガウン装着で立ち会い、1名のみ
- ・立ち会い希望のご家族にも妊娠36週時から体調管理表の記載。分娩当日は、2週間以内の行動確認
- ・発熱などのチェック、体温測定、マスク装着、産後2時間まで面会
- ・夫または一人のみ、分娩間近かになってから案内、検温、行動の確認

②COVID-19のため中止の場合の対応

- ・施設スタッフがずっと付き添う、随時画像を撮り、夫に電話で説明
- ・出産後、家族1人のみ距離を開けて面会
- ・写真撮影をおこなう。今後は、病院側が媒体を準備して渡す予定
- ・LDR内における携帯電話の自由利用

4) 産後の面会を行っているか

回 答	はい	いいえ	COVID-19 のため中止	無回答
施設数	14	3	21	1

①はいの場合の対策

- ・面会登録した2名のうち1日1名1回30分～1時間程度。マスク・手洗い（アルコール消毒）発熱チェック含めた健康チェックを記載、子供の面会は不可
- ・産婦、分娩直後に分娩室で15分間、夫のみ面会。新生児は出生後1回のみ、ガラス越しで15分間父親のみ面会
- ・家族1名のみ、分娩後24時間以内に窓越しで児と面会
- ・分娩当日または翌日家族1名のみ15分間面接可能（ベビーはガラス越し）帝王切開後の方は翌日面会

②COVID-19のため中止の場合の対応

- ・荷物のみナースステーション前で助産師・看護師が家族から預かり渡している
- ・出産当日のみ夫の短時間面会の実施（体温測定、マスク着用で）それ以外、入院中は基本中止（中止の施設でも、分娩当日のみは1名のみ可能などの条件で行われているとの複数回答あり）

5) 母親学級などの集団指導を行っているか

回 答	はい	いいえ	COVID-19 のため中止	無回答
施設数	10	3	26	0

①はいの場合の対策

- ・受講人数の制限、座席の工夫、換気、受講前の健康チェック、マスク必着
- ・2週間からの体調管理表の記載 参加者は妊婦のみとし、人数制限をしている
- ・1回5人以内、検温、手指消毒、マスク、換気の徹底

②COVID-19のため中止の場合の対応

- ・YouTubeで動画配信、外来でタブレットPCやCTG装着時TVからDVD(当院作成したMC用)を見る。テキストで個別指導。多方面から動画を作成した
- ・助産師外来にて個別で実施
- ・DVD作成（外来受診時に希望者が見ている）、パンフレット作成して渡している。市町村の母親学級を勧めている
- ・個別に健診時に話している
- ・個別に助産師外来、webによる妊娠・出産の案内。質問紙を配布しその都度個別対応

3.周産期メンタルヘルス対応

1) 精神科医療機関との連携

回 答	はい	いいえ	無回答
施設数	23	15	1

①はいの場合の対応

- ・多職種によるリエゾンチームがあり、精神科認定看護師を中心に介入している。精神疾患を

有する妊婦や、妊娠初・中・後期のメンタルスクリーニングを行い、面接した上で対象者をつないでいる。また、産後もメンタル状態、EPDS等から評価し、つないでいる

- ・心療内科通院中の方は、入院中の往診、産後介入が必要と判断した場合には、心療内科へ連絡し、往診
- ・産科医・助産師・病棟師長とカンファレンスを行い、近隣病院や保健センターに繋げている
- ・精神疾患の既往がある妊婦や、虐待の既往がある場合など、リエゾンナースとの面談。必要があれば精神科受診
- ・メンタルクリニックへ紹介。受診中の方は、情報共有をおこなう。月1回精神科開業医、行政と一緒にメンタルヘルスカンファレンスを実施。各職種間の情報共有を図り、対応のアドバイスを受けている

4.産後ケアの取り組みについて

1) 産後ケアに取り組んでいますか

回 答	はい	いいえ
施設数	27	12

2) どのように取り組んでいますか（複数回答）

回 答	宿泊型	デイサービス型	アウトリーチ型
施設数	24	8	1

①宿泊型

- ・当院で出産した母子のみ。退院の延長という流れで一泊二日又は二泊三日のみ。事前申し込み、当日利用、事後報告での利用可能と市との契約（病院と）が近日中に始まる予定
- ・生後60日以内の児、当院出産の方に限り最長6泊7日で受け入れ。産科側ベッド利用、市の助成あり、自費での利用も可
- ・事前に電話面接、希望を伺った上で、計画を立てて実施
- ・妊娠中の保健指導において、産後ケアの説明をおこない、市町からの依頼で実施。内容は育児技術のサポート、休息など本人の希望に沿って実施。
- ・当院で出産された方の延長入院も受けている。施設所在市以外の地域周辺から受けており、入院にあたり、母児共にPCR検査を実施している
- ・当院で出産した人のみ、その人のニーズに沿った内容で援助

②デイサービス型

- ・児の発育状況の観察、育児相談、技術指導（沐浴、直母、搾乳、マッサージ等）

③アウトリーチ型

- ・産後家庭訪問

感染防止対策などの多忙な時期に、多くの施設の回答を得ることができました。ご協力ありがとうございました。貴施設のケア実践にお役立ていただければ幸いです。

今後とも、助産師職能委員会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。